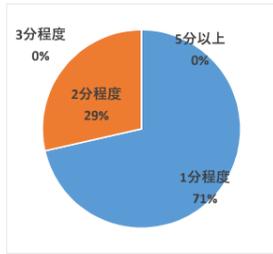


サイクルラックバス実証実験アンケート結果

《ラックへの自転車乗せ降ろしについて》※参加者全員に対する乗せ降ろし方法の事前説明は無しで実施。

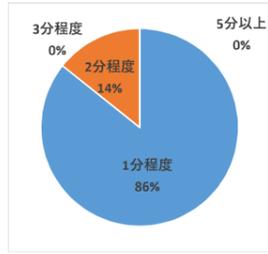
(Q1)乗せるのにどの程度時間がかかりましたか。

1	1分程度	5
2	2分程度	2
3	3分程度	0
4	5分以上	0



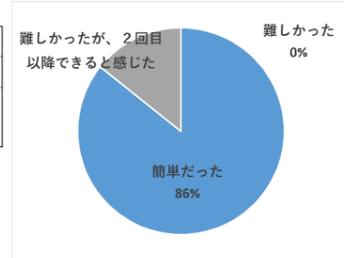
(Q2)降ろすのにどの程度時間がかかりましたか。

1	1分程度	6
2	2分程度	1
3	3分程度	0
4	5分以上	0



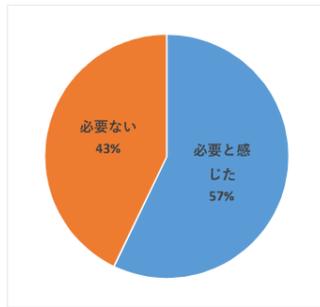
(Q3)自転車の乗せ降ろし作業は難しいと感じましたか。

1	簡単だった	6
2	難しかった	0
3	難しかったが、2回目以降でできると感じた	1



(Q4)別にラックの取扱い説明書が必要と感じましたか。

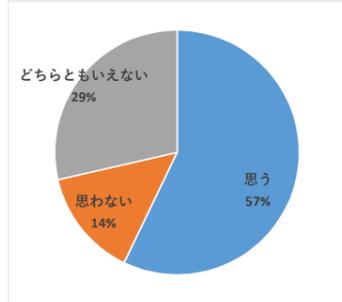
1	必要と感じた	4
2	必要ない	3



《サイクルラック導入について》

(Q5)今後、豊鉄バスにサイクルラックが導入されたら、利用してみたいと思いますか。

1	思う	4
2	思わない	1
3	どちらともいえない	2



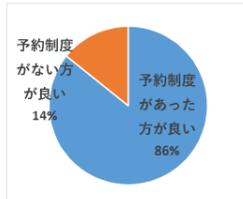
(+Q1)サイクルラックバスの利用料金が、いくらまでなら利用しようと思いますか。

1	1乗車100円	2
2	1乗車200円	5
3	1乗車300円以上	0
4	その他	0



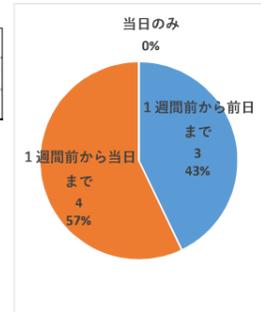
(+Q2) サイクルラック利用について、予約制度があった方が良いと思いますか？

1	予約制度があった方が良い	6
2	予約制度がない方が良い	1



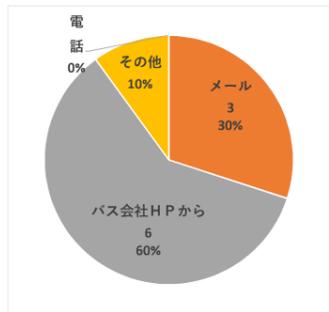
(+Q3-1)予約はいつまでに受け付けてほしいですか？

1	1週間前から前日まで	3
2	1週間前から当日まで	4
3	当日のみ	0



(+Q3-2) 予約はどのように受け付けてほしいですか？ ※複数回答可

1	電話	0
2	メール	3
3	バス会社HPから	6
4	その他	1



その他…予約受付するのとあわせて自転車の載せ方等の案内をしてもらえると安心。

(Q6)サイクルラックバスは、どのような使い方が考えられますか。

- ・豊橋市方面からの渥美半島の先端までの往路をサイクリングして、復路は公共交通機関を利用するという使い方が考えられる。
- ・渥美半島サイクリングで行き自転車、帰りバス
- ・観光周遊（サイクリングする際に起点、終点を好きなバス停から始められるのでサイクリングのルート設定の幅が広がる。また、途中でトラブルが起きた時も利用できるかなと思った。）
- ・たはら巡りな体験場所への2次交通サイクリング、通学、買い物、サーフィン移動
- ・サイクルラックバスの利用を組み込んだ観光ツアー

(Q7) 現在、田原駅前、保美、伊良湖岬での乗せ降ろしを検討していますが、サイクリング・観光・生活上、他にどこのバス停で運用すべきだと思いますか。 ※全てのバス停という記載は不可

- ・赤羽根（サイクリング）
- ・赤羽根港、赤羽根西、蔵王山南口
- ・停車時間が2分程度なのでできればどこでも可能にすべき。
高松（赤羽根ロングビーチ沿いの太平洋岸自転車道のサイクリング）、赤羽根港（親日へのサーフィン、道の駅赤羽根ロコステーション）、和地（まわりんミドル渥美地区の分岐）、堀切海岸（Nカフェ～菜の花ガーデン～伊良湖岬へのサイクリング）、渥美ショップ（レイからのサイクリング）、休暇村（サイクリング）、伊良湖岬（サイクリング、道の駅クリスタルポルト）、亀山小学校（日常生活2次交通）、野田（サンテパルクへのサイクリングアプローチ）、渥美農高前（通学利用）、石神（夕日丘へのアプローチ）、江比間か宇津江（まわりんミドルコースの内海アプローチ）
- ・堀切海岸・菜の花ガーデン（観光地）

(Q8) 今回の実証実験に参加して、改善すべき点や気づいた点、ご感想などございましたら、自由にご記入ください。

- ・乗り降ろしの際の後方からの走行車両からはバス前の状況を確認しづらく、乗り降ろしに集中すると乗り降ろし者の後方の注意が散漫となり、交通事故防止への配慮が必要であると感じました。運転手が注意を促すなど何かしらの対策があると安心して乗り降ろしができるかと思いました。
- ・全長の長いライザーバーはフロントガラスに干渉し、車両側には載せられませんでしたので、案内に明記が必要だと思います。
- ・載せられる自転車の形状に制限があるので、いまのままだと利用者は相当限られると思いました。運用自体に問題はないと感じました。
- ・はじめて利用する人用に、ホームページ等に載せ降ろしの動画、説明書を掲載する必要がある。
- ・誰かが使っていて載せられないということがないように、予約状況が分かるようなシステムが必要
- ・ママチャリ(かご付き)も載せられるようなラックにする（日本仕様のラックを作成する）
- ・バスの車内にも載せられるようにする（全国に事例あり）

・自転車の乗せおろしは非常に簡単だったが、道路が狭い場所で乗せおろしを行うとやや渋滞が発生していたので、追い越しのできる広い道路であれば今後も運用できるのではと感じた。

- ・自転車の乗せ降ろしをするのに当日車内でアナウンスがあったのか覚えていないが、バスの乗客がキョロキョロしていたのでアナウンスがあると親切だと思った。
- ・外国人留学生のバス利用が結構多く、乗降先の移動手段に自転車を利用する人も多いと思うので、そういった方の利用も取り込めないかと思います。

(その他)担当者所感

- ・自転車の載せ降ろし所要時間は、1分程度でタイヤに影響はなく、どのバス停でも載せ降ろし可能だと感じた。
- ・運行上の安全も確保できていた。

今後の方針

一般市民向けに実証実験を展開する。（実験期間：令和7年7月頃～令和8年3月）

- ・ラック利用に係る料金は無料とする。予約制は導入しない。路線内すべてのバス停で利用可能とする。